

学期	月	単元名 小単元 教材名 (時数)	時数	指導目標	評価規準			※備考 ※次年度の指導に参考になる事項 ■言語活動
					関心・意欲・態度	【話・聞】【書】【読】	言語事項	
前期	4	よく聞いて、じこしょうかい	1 話・聞①	◎相手によく分かるようにはっきり話したり、友達の話をよく聞いたりできる。(話・聞(1)ウ・エ, 伝国(1)イ(ア))	・クラスの友達のことに関心をもって、話したり聞いたりしようとしている。	【話・聞】 ・前の人の話をよく聞き、自分のことを短い言葉ではっきり話している。	・言葉によって、自分の考えや気持ちを表せることに気づいている。	■自己紹介をする。 ※楽しい学級生活づくり(特別活動)
		どきん	1 読①	◎擬声語や擬態語、文末表現の響きやリズムから様子を想像し、それが表れるように声に調子をつけて音読することができる。(読(1)ア, 伝国(1)イ(ア))	・言葉の響きやリズムを楽しみながら、音読しようとしている。	【読】 ・詩に表現された様子を想像しながら、自分の思いがよく分かるように音読している。	・擬声語や擬態語に注目し、それらによってさまざまな様子が表されていることに気づいている。	■詩を音読する。
1 場面のようにすを思いうかべ、音読しよう								
		きつつきの商売	9 読⑧, 書①	◎場面の様子や違いに注意しながら音読を工夫し、発表することができる。(読(1)ア・ウ) ・想像したことの中心を明確にしなが、様子が分かるように書くことができる。(書(1)ア・カ) ・言葉には、人物の気持ちや行動を表す働きがあることに気づくことができる。(伝国(1)イ(ア))	・物語の場面の様子に合わせて音読を工夫し、進んで発表しようとしている。	【読】 ・声の出し方(声の強弱、速さ、高さ、抑揚、間など)に注意し、物語の場面の様子や違いを意識して音読を工夫している。 ・場面の様子を捉え、登場人物の行動やそのときの様子を読み取っている。 【書】 ・想像したことが伝わるように必要な事柄を整理して書いている。	・言葉から、人物の気持ちや行動を想像している。	■物語を音読する。 ※自然のすばらしさに感動し、自然や動植物を大切にする心を育てる題材(道徳)
		国語辞典のつかい方	2 伝国②	◎国語辞典の使い方を理解し、必要に応じて活用することができる。(伝国(1)イ(ウ)・(カ))	・国語辞典の使い方に興味をもち、進んで言葉を調べようとしている。		・国語辞典の使い方を理解し、分からない語句を調べている。 ・活用する語に注意して、辞書を引いている。	
		漢字の音と訓	2 伝国②	◎漢字には音と訓があることを理解することができる。(伝国(1)イ(ウ)・ウ(イ))	・漢字に音と訓があることに興味をもち、確かめようとしている。		・送り仮名に注意して漢字を読んでいる。 ・漢字に音と訓があることを理解し、これまでに学習した漢字を読んでいる。	
		春の楽しみ	2 書②	◎春の行事に興味をもち、それに関わる語句を集めることができる。(書(1)ア, 伝国(1)イ(オ))	・春の行事に関わる語句を思い浮かべ、交流したりイメージマップに書いたりしようとしている。	【書】 ・春の行事に関わる言葉を集めている。	・春に関わる言葉を増やしている。	■春の行事から思い浮かぶ言葉を書く。 ※行事を通して自分たちの地域に目を向けさせる題材(総合学習・社会)

学期	月	単元名 小単元 教材名 (時数)	時数	指導目標	評価規準			※備考 ※次年度の指導に参考になる事項 ■言語活動
					関心・意欲・態度	【話・聞】【書】【読】	言語事項	
前期	5	よい聞き手になろう [コラム] きちんとつたえるために [コラム] こそあど言葉	5 話・聞④, 伝国①	◎話の中心に気をつけて聞き、質問したり感想を述べたりできる。(話・聞(1)エ) ○日常生活から話題を決め、適切な言葉遣いで筋道を立てて話すことができる。(話・聞(1)ア・イ, 伝国(1)イ(ア)) ○指示語の働きを理解し、適切に使うことができる。(伝国(1)イ(ク))	・友達の話に興味をもち、進んで聞き、より多くの話を引き出そうとしている。	【話・聞】 ・話の中心に気をつけて聞き、質問したり感想を言ったりしている。 ・適切な言葉遣いで筋道を立てて話している。	・聞き手に伝わるように言葉を選んで話している。 ・指し示しているものが、共有されているかどうか注意到意しながら、指示語を正しく使っている。	■出来事の報告をしたり、それを聞いて感想を述べたり質問をしたりする。 ※話し合いの際の、話し手・聞き手の姿勢を育てる題材(特別活動)
		漢字の広場①	2 書②	◎2年生までに配当されている漢字を使った文を正しく作ることができる。(伝国(1)ウ(イ)) ・文章の間違いを直したり、よりよい表現に書き直したりすることができる。(書(1)オ)	・絵の中の人や物の様子を、提示された言葉を使って説明しようとしている。	【書】 ・主語・述語の関係などに気をつけて、自分の書いた文を見直している。	・2年生までに学習した漢字を正しく使い、短文を作っている。	■絵を見て想像したことをもとに文を書く。
	2 まとまりをとらえて読み、かんそうを話そう							
			言葉で遊ぼう こまを楽しむ	9 読⑧, 書①	◎「段落」について知り、「初め」「中」「終わり」の文章構成や、それぞれの段落の内容を捉えることができる。(読(1)イ) ○大事な言葉や文に注意しながら読むことができる。(読(1)エ) ○文章を読んで考えたことを適切な言葉で発表し合い、一人一人の捉え方の違いに気づくことができる。(読(1)オ, 伝国(1)イ(ア)) ・物が動く様子を、具体的に分かりやすく書くことができる。(書(1)ウ)	・いろいろな遊びが説明されている文章に興味をもち、進んで読もうとしている。	【読】 ・「段落」を理解し、その内容に基づいて、文章全体の構成を理解している。 ・紹介されているこまの種類や楽しみ方を読み取っている。 ・文章を読んだ感想を交流し、一人一人の捉え方の違いに気づいている。 【書】 ・物が動く様子を、具体的に分かりやすく描写している。	・感想を伝える際に、適切な言葉を用いている。
		俳句を楽しもう	1 伝国①	◎大意などを手がかりに情景を想像したり、日本語特有のリズムを感じたりしながら俳句を音読し、文語の調子に親しむことができる。(伝国(1)ア(ア))	【関】 ・五・七・五の調子を楽しみ、声に出して読もうとしている。		【言】 ・俳句や「いろは歌」を、五七調のリズムや語感に気をつけて音読し、大意をもとに情景を想像している。	■俳句を音読したり、暗唱したりする。 ※我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材(道徳)
6	3	ざいりょうを集めて、ほうこくする文章を書こう						
		気になる記号 [コラム] 符号など	1 4 書⑭	◎報告するために必要な事柄を調べ、報告する文章の構成に沿って文章を書くことができる。(書(1)ア・イ)	【関】 ・身近な事柄から題材を探し、文章に書いて伝えようとしている。	【書】 ・題材に関して適当な実例を集め、情報を分類している。	【言】 ・句読点や段落を適切に表記して文章を書いている。	■調べたことを報告する文章を書く。

学期	月	単元名 教材名	小単元 (時数)	時数	指導目標	評価規準			※備考	
						関心・意欲・態度	【話・聞】【書】【読】	言語事項	※次年度の指導に参考になる事項 ■言語活動	
前期	6				◎書いた文章を読み合い、意見や感想を伝え合うことができる。(書(1)カ) ○適切に句読点を打ったり、段落に分けたりして書くことができる。(伝国(1)イ(エ))		・報告の型に沿って文章を書いている。 ・自分の書き方と友達の書き方を比較し、感想や意見を伝えている。		※実地調査したことを記録し、報告する文章にまとめる。(社会・総合的な学習の時間)	
		漢字の広場②	2 書②	◎2年生までに配当されている漢字を使った文を作ることができる。(伝国(1)ウ(イ)) ・接続語を意識しながら、文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすることができる。(書(1)オ, 伝国(1)イ(ク))	・絵をもとに、提示された言葉を使ってお話をしようとしている。	【書】 ・主語・述語の関係、接続語などに気をつけて文章を見直している。	・2年生までに学習した漢字を正しく使い、文章を書いている。 ・接続語の役割を理解し、使っている。	■絵を見て想像したことをもとに物語を書く。		
		たのきゅう	1 読①	◎読み聞かせを聞き、登場人物の行動や場面の移り変わりに注意しながら、場面の様子の想像を広げることができる。(読(1)ウ) ・自分の感想を伝えるための言葉を増やすことができる。(伝国(1)イ(オ))	・場面の様子を想像しながら読み聞かせを楽しもうとしている。	【読】 ・読み聞かせを聞いて、場面の移り変わりを捉えている。	・感想を伝えるための言葉を増やしている。	■昔話の読み聞かせを聞き、感想を述べる。		
		夏の楽しみ	2 書②	◎夏の行事に興味をもち、それに関わる語句を増やすことができる。(伝国(1)イ(オ)) ・七夕の短冊に書く事柄を決めることができる。(書(1)ア)	・夏の行事に関わる語句を思い浮かべ、交流したりノートに書いたりしようとしている。	【書】 ・夏に関する行事を想起し、七夕の短冊に書く事柄を決めることができる。	・夏の行事に関わる言葉を連想し、使うことのできる語句を増やしている。	■短冊に文を書く。 ※我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材(道徳) ※短冊に書く。(書写)		
7	4	読んで、かんじたことを発表しよう もうすぐ雨に			6 読⑥	◎文章を読んで感じたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気づくことができる。(読(1)オ) ○場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の行動や気持ちについて、叙述をもとに想像して読むことができる。(読(1)ウ) ・自分の感想を表す言葉を増やすことができる。(伝国(1)イ(オ))	・物語の中で起こる出来事に興味をもって読もうとしている。	【読】 ・各場面できれい出来事がどのように起こっていくかを押さえ、場面の移り変わりとともに登場人物の行動や気持ちに変化していることを理解して読んでいる。 ・友達の発表を聞いて、自分の感じ方や考え方と違いがあることに気づいている。	・「言葉のたから箱」を参照したり、友達の発言を聞いたりと、感想を表す言葉を増やしている。	■物語の感想を発表する。
		「ありがとう」をつたえよう			5 書⑤	◎目的や必要に応じて、気持ちが伝わるように書き方を工夫した手紙を書くことができる。(書(1)ウ, 伝国(1)イ(ア))	【関】 ・感謝の気持ちを伝えたいという思いをもって、手紙を書こうとしている。	【書】 ・手紙を書くときに必要な事柄を把握して書いている。	【言】 ・気持ちや用件を適切な言葉で表している。	■用件や気持ちが伝わるように手紙を書く。

学期	月	単元名 小単元 教材名 (時数)	時数	指導目標	評価規準			※備考 ※次年度の指導に参考になる事項 ■言語活動
					関心・意欲・態度	【話・聞】【書】【読】	言語事項	
前期	7			◎相手や目的に応じ、敬体と常体を使い分けて書くことができる。(書(1)エ)		・敬体と常体に気をつけて手紙を書いている。		※時と場に応じた適切な手紙を書く(社会・総合的な学習の時間)
		漢字の広場③	2 書②	◎2年生までに配当されている漢字を使った文を作ることができる。(伝国(1)ウ(イ)) ・時を表す言葉を使って文を書き、できあがった文章を読み返してよりよい表現に書き直すことができる。(書(1)オ, 伝国(1)イ(ク))	・示された場面や人物の様子を、提示された言葉を使って説明しようとしている。	【書】 ・でき上がった文章がよりよい表現になるように見直している。	・2年生までに学習した漢字を正しく使い、文章を書いている。 ・時を表す言葉を適切に用いている。	■絵を見て想像したことをもとに文を書く。
	7	本は友だち 本を使って調べよう 里山は、未来の風景 [コラム] 本の分類表	5 読⑤	◎目的に応じ、いろいろな本や文章を選んで読むことができる。(読(1)カ) ・いろいろな本や文章を読み、調べる対象についての語彙を増やすことができる。(伝国(1)イ(ア))	・自分が調べたいことを選んで、本で調べようとしている。	【読】 ・調べたいことが載っている本や資料を選んで読んでいる。	・本を使って調べることで、語彙を広げている。	■記録文や報告文、図鑑や事典などを利用して調べる。 ※自然のすばらしさに感動し、自然や動植物を大切にすることを育てる題材(道徳) ※文献を利用して、課題について調べる。(理科・総合的な学習の時間) ※読書活動(図書館活用)
	8	わたしと小鳥とすずと 山のとっぺん	2 読②	◎音読を発表し合い、一人一人の感じ方の違いに気づくことができる。(読(1)オ, 伝国(1)イ(ア)) ・二つの詩を比べながら読み、詩の組み立てや内容がよく分かるように言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して音読することができる。(読(1)ア)	・詩を楽しんで音読しようとしている。	【読】 ・詩のそれぞれの連の内容とその関係を理解し、音読している。 ・音読の発表を聞いて感想を交流することで、互いの感じ方や考え方の違いに気づいている。	・友達の発表を聞いて思ったことや考えたことを適切な言葉で表している。	■詩を音読する。 ※それぞれの個性を大切にすることを扱った題材(道徳)
	9	5 進行を考えながら話し合おう つたえよう、楽しい学校生活 [コラム] インタビュー	15 話・聞⑩	◎互いの考えの共通点や相違点を整理し、司会や提案などの役割を果たしながら、話し合うことができる。(話・聞(1)オ, 伝国(1)イ(ア)) ○学校生活の中で紹介する話題を決めて、必要な事柄を調べたりインタビューしたりすることができる。(話・聞(1)ア)	・進んで話し合いや発表を行うおうとしている。	【話・聞】 ・学校生活の中から話題を決め、必要な事柄について調べたり、インタビューで聞いたりしている。 ・互いの考えの共通点や相違点を考え、司会や提案などの役割を果たしながら、進行に沿って話し合っている。	・意見や理由を述べる際に用いる言葉を知り、言葉には考えを伝える働きがあることに気づいている。	■グループで話し合っただけで考えをまとめ、学校行事を紹介する。 ※インタビューによって調査する(社会・総合的な学習の時間)

学期	月	単元名 小単元 教材名 (時数)	時数	指導目標	評価規準			※備考 ※次年度の指導に参考になる事項 ■言語活動	
					関心・意欲・態度	【話・聞】【書】【読】	言語事項		
前期	9			・伝えたい目的と内容を明確にして、言葉遣いや視線などに注意しながら話すことができる。(話・聞(1)イ・ウ)		・内容のまとまりや話の構成を意識し、言葉の強弱や抑揚、視線、間の取り方などを工夫して話している。			
		へんとつくり	2 伝国②	◎漢字のへん、つくりなどの構成についての知識をもつことができる。(伝国(1)ウ(ウ))	・「へん」や「つくり」に着目しながら意欲的に漢字を類別しようとしている。		・漢字の部分に着目し、「へん」や「つくり」など漢字の構成について基本的なことを理解している。		
	10	ローマ字	4 伝国④	◎日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、また、ローマ字で書くことができる。(伝国(1)ウ(ア))	・ローマ字の学習に興味をもち、読んだり書いたりしようとしている。		・ローマ字表記の基本を理解し、簡単な単語を、読んだりローマ字で書いたりしている。		
後期	10	1 場面のうつりかわりをとらえて、感想をまとめよう							
		ちいちゃんのかげおくり	10 読⑩	◎場面の移り変わりに注意しながら読み、人物の行動、情景、会話などの表現に着目して読むことができる。(読(1)ウ) ○感想の内容や書き方を比較し、考えの明確さなどについて意見を伝え合うことができる。(読(1)オ, 伝国(1)イ(ア)) ・細かい点に注意しながら読み、場面をまとめたり、文を引用したりして感想を書くことができる。(読(1)エ)	・場面の移り変わりに着目して読み、進んで感想を書こうとしている。	【読】 ・場面の移り変わりに注目し、それぞれの場面の様子を想像しながら読んでいる。 ・本文を引用したりまとめたりして、文章の叙述に基づき、感想文を書いている。 ・感想を交流する中で、一人一人の感じ方の違いに気づいている。	・作品中の多様な表現や感想を表すのに適切な言葉があることに気づいている。	■物語を読み、感想をまとめる。 ☆戦争や平和について考えさせるとともに、平和を願う心を養う題材(道徳)	
		漢字の広場④	2 書②	◎2年生までに配当されている漢字を使った文を作ることができる。(伝国(1)ウ(イ)) ・文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすることができる。(書(1)オ)	・示された場面や人物の様子を、提示された言葉を使って説明しようとしている。	【書】 ・主語・述語の関係などに気をつけて文を見直している。	・2年生までに学習した漢字を正しく使い、短文を作っている。	■絵を見て想像したことをもとに文を書く。	
		修飾語	2 伝国②	◎修飾・被修飾の関係など、文の構成について初歩的な理解をもつことができる。(伝国(1)イ(キ))	・修飾語に関心をもち、文の構成を理解しようとしている。		・文を詳しくしたり意味を定めたりするという修飾語の働きを理解している。		
		秋の楽しみ	2 書②	◎秋の行事に興味をもち、それに関わる語句を増やすことができる。(書(1)ア, 伝国(1)イ(オ))	・身の回りから、秋に関わる言葉を見つけようとしている。	【書】 ・秋に関わる言葉を集めて簡単な文章を書いている。	・秋に関わる言葉を思い浮かべたり、知っている語句を交流したりして、語句を増やしている。	■絵を添えて文を書く。 ※我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材(道徳) ※絵手紙を書く。(書写)	

学期	月	単元名 小単元 教材名 (時数)	時数	指導目標	評価規準			※備考 ※次年度の指導に参考になる事項 ■言語活動
					関心・意欲・態度	【話・聞】【書】【読】	言語事項	
後 期	1 1	2 せつめいのくふうについて話し合おう						
		すがたをかえる大豆 [コラム] 絵や写真を使ってせつめい する	6 読⑥	◎中心となる語や文を捉え、段落相互 の関係を考えながら、文章の内容を 的確に理解することができる。(読 (1)イ) ○内容を大きくまとめたり、必要など ころは細かい点に注意したりしな がら読むことができる。(読(1)エ) ・内容の中心が伝わるように音読でき る。(読(1)ア) ・文中の語句について、国語辞典を利用 して調べることができる。(伝国 (1)イ(カ))	・文章の内容に関心を持ち、 文章構成を理解しながら 読もうとしている。	【読】 ・中心になる文を確かめなが ら、説明されていることを 整理している。 ・構成や具体例に注意し、整 理しながら適切に内容をま とめている。 ・中心となる文や大事な言葉 に気をつけ、内容が伝わる ように音読している。	・文章中の表現や言葉に注目 し、国語辞典を使って調べ ている。	■説明のしかたについて話し合 う。 ※食育に関わる題材（総合的な 学習の時間）
		食べ物のひみつを教えます	8 書⑧	◎目的に適した事例を複数挙げなが ら、説明する文章を書くことができ る。(書(1)ウ、伝国(1)イ(カ)) ○「初め」「中」「終わり」の構成を意 識し、「中」の事例を絵と組み合わせ ながら段落に分けて書くことが できる。(書(1)イ)	・食べ物について関心をも ち、調べて分かったことを 説明しようとしている。	【書】 ・書く目的によって必要とな る事項と観点を理解し、適 切な事例を挙げて説明する 文章を書いている。 ・「中」の部分で、内容のまと まりごとに段落を分け、文 章を構成している。	・説明するために必要な語句 を、辞書を引いて調べてい る。	■食材について説明する文章を 書く。 ※食育に関わる題材（総合的な 学習） ※調べたことを文章で説明す る。(社会) ※調べ学習（図書館活用）
		短歌を楽しもう	1 伝国①	◎知っている言葉を手がかりにして 情景を想像したり、日本語特有のリ ズムを感じたりしながら短歌を音 読し、文語の調子に親しむことが できる。(伝国(1)ア(ア))	・調子や響きを楽しみ、リズ ムをつかんで声に出して 読もうとしている。		・リズムや語感に気をつけて、 情景を思いうかべながら音 読し、好きな短歌を選んで 暗唱している。	■短歌を音読したり、暗唱した りする。 ※我が国の伝統と文化に対する 理解と愛情を養う題材(道徳)
		漢字の意味	2 伝国②	◎同じ発音でも、意味の違う漢字があ ることを理解し、適切に漢字を使う ことができる。 (伝国(1)イ(イ)・ウ(イ))	・漢字が表す意味を進んで考 えようとしている。		・同じ発音でも意味の違う漢 字があることを理解し、意 味を考えて適切に漢字を 書いている。 ・3年生までに学習した漢字 を正しく使い、短文を作っ ている。	

学期	月	単元名 小単元 教材名 (時数)	時数	指導目標	評価規準			※備考 ※次年度の指導に参考になる事項 ■言語活動
					関心・意欲・態度	【話・聞】【書】【読】	言語事項	
後 期	1 1	3 おもしろいと思うところを、しょうかいしよう 三年とうげ	6 読⑥	◎物語を読んで考えたことを発表し 合い、一人一人の感じ方について違 いのあることに気づくことができる。 (読(1)オ) ○場面の移り変わりを捉え、登場人物 の気持ちの変化や情景を想像する ことができる。(読(1)ウ) ・工夫された表現に着目し、語句を増 やすことができる。(伝国(1)イ (オ))	・民話や昔話のおもしろさを 見つけながら、進んで読書 をしようとしている。	【読】 ・民話や昔話を読んで感想を 交流し合い、感じ方の違い に気づいている。 ・場面の移り変わりや登場人 物の気持ちを想像しながら 読み、民話や昔話のおもし ろさを味わっている。	・文章中で使われている言葉 の工夫に着目し、表現する ための語句を増やしてい る。	■民話や昔話を紹介する。 ※世界の文化に対する興味・関 心を促し、その理解を図る題 材(道徳・総合的な学習の時 間) ※関連読書(図書館活用)
	1 2							
		たから島のぼうけん	8 書⑧	◎「初め」「中」「終わり」の組み立て を使い、物語の構成を考えることが できる。(書(1)イ) ○場面の様子や人物の気持ちを詳しく 書いたり会話文を入れたりして、 想像したことなどをもとに物語を 書くことができる。(書(1)ウ) ○文字や句読点の位置、文章表現に気 をつけながら、推敲することができる。 (書(1)オ、伝国(1)イ(エ))	・想像を広げたり、友達と交 流したりしながら楽しん で物語を書こうとしている。	【書】 ・場面の移り変わりを捉えて 物語の組み立てを考えて書 いている。 ・場面の様子や人物の気持ち を詳しく書いたり、会話文 を入れたりして物語を書い ている。 ・文字の間違いを正したり、 よりよい表現に書き直し たりしている。	・句読点を適切に打ち、段落 の始めや会話の部分など の必要な箇所は行を改めて書 いている。	■物語を書く。
		漢字の広場⑤	2 書②	◎2年生までに配当されている漢字 を使った文を作ることができる。 (伝国(1)ウ(イ)) ・文章の間違いを正したり、よりよい 表現に書き直したりすること ができる。(書(1)オ)	・示された場面や人物の様子 を、提示された言葉を使っ て説明しようとしている。	【書】 ・主語・述語の関係などに気 をつけて文を書き、見直 している。	・2年生までに学習した漢字 を正しく使い、短文を作っ ている。	■絵を見て想像したことをもと に文章を書く。
		言葉を分類する	4 書②、伝国②	◎言葉の性質に着目して、言葉を分類 できる。(伝国(1)イ(オ)) ・「動きを表す言葉」「様子を表す言葉」 「物や事を表す言葉」を使って、文 章をよりよい表現に書き直すこと ができる。(書(1)オ・カ)	・言葉の使い方や意味による 分け方に興味をもち、いろ いろな言葉を分類しよう としている。	【書】 ・書いた文を、言葉の性質に 着目してよりよい表現に 書き直している。	・言葉は、性質に着目すると 「動きを表す言葉」「様子 を表す言葉」「物や事 を表す言葉」に類別できることを理 解している。	■絵の様子を言葉で表す。

学期	月	単元名 小単元 教材名 (時数)	時数	指導目標	評価規準			※備考 ※次年度の指導に参考になる事項 ■言語活動
					関心・意欲・態度	【話・聞】【書】【読】	言語事項	
後 期	1 2	冬の楽しみ	2 書②	◎冬の行事に興味をもち、それに関係する語句を増やすことができる。 (伝国(1)イ(オ)) ○冬に関する言葉を集めて、文を作ることができる。(書(1)ア)	・冬の行事に関わる言葉に興味をもち、身の回りから探そうとしている。	【書】 ・身の回りから題材を決め、冬のかるたを五・七・五のリズムで書いている。	・冬らしい言葉を出し合い、知っている語句を増やしている。	■詩を集め、詩集を作る。 ※関連読書(図書館活用)
	1	雪 ゆき 雪	4 読②, 書②	◎自分の気に入った詩を集めるため、テーマを決めて詩集を読むことができる。(読(1)カ) ○言葉の響きやリズムなどから様子を想像し、それが表れるように音読することができる。(読(1)ア, 伝国(1)イ(ア)) ・詩集を作り、友達と読み合っ、感想を交流することができる。(書(1)カ)	・楽しんで詩を集めようとしている。	【読】 ・詩の比喻や繰り返しの表現に気づいて音読している。 【書】 ・詩集を読み合い、内容について感想を述べ合っている。	・言葉によって思いや考えが表現されていることを理解している。	■詩を集め、詩集を作る。 ※関連読書(図書館活用)
	4 考えの進め方をとらえて、科学読み物をしょうかいしよう							
			ありの行列	7 読⑦	◎紹介するために、文章の内容を適切に引用したりまとめたりすることができる。(読(1)エ) ○実験と考察に注意しながら各段落の内容を読み取り、論の進め方を適切に捉えることができる。(読(1)イ) ○指示語や接続語には、文章の論理的な関係を作る働きがあることを理解することができる。(伝国(1)イ(ク)) ・文章の内容と感想を発表し合い、一人一人の捉え方に違いがあることに気づくことができる。(読(1)オ)	・科学的な内容の本や文章に興味をもち、進んで読もうとしている。	【読】 ・「問い」から「答え」に至る実験と考察を読み取り、論の進め方を捉えている。 ・文章構成を踏まえて、内容を簡潔にまとめている。 ・科学読み物を読んだ感想を交流し、友達と自分の捉え方に違いがあることに気づいている。	・指示語と接続語に着目し、文章の論理構成を捉える手がかりとしている。
		しりょうから分かる、小学生のこと [コラム] 見せながら話すときには	7 話・聞⑦	◎相手を見て、大事な部分や言葉を強調したり、問の取り方に注意したりして話すことができる。(話・聞(1)ウ) ○関心のあることから話題を決め、分かったことや考えたことについて、筋道を立てて、話すことができる。(話・聞(1)ア・イ)	・資料から分かったことを説明する活動に興味をもち、進んで話し手になって発表しようとしている。	【話・聞】 ・情報を選んで分析し、分かったことを挙げている。 ・分かったことや考えたことについて、筋道を立てて話している。	・指示語や接続語の使い方に注意して話している。	■図表に基づいて、話したり聞いたりする。 ※資料を読み、そこから分かることをまとめて発表する。(社会・総合的な学習の時間) ※調べ学習(図書館活用)

学期	月	単元名 小単元 教材名 (時数)	時数	指導目標	評価規準			※備考 ※次年度の指導に参考になる事項 ■言語活動
					関心・意欲・態度	【話・聞】【書】【読】	言語事項	
後 期	2			・指示語や接続語の役割を理解し、適切に使うことができる。(伝国(1)イ(ク))		・相手を見て、大事な言葉や部分を強調したり、間の取り方に注意したりして話している。		
		コンピュータのローマ字入力	2 伝国②	◎ローマ字でコンピュータに言葉を入力することができる。(伝国(1)ウ(ア))	・ローマ字の学習に興味をもち、コンピュータを使って書こうとしている。		・簡単な単語を、ローマ字入力で正確にコンピュータに入力している。	※コンピュータを使って、検索をしたり、文章を書いたりする。(総合的な学習の時間)
		カンジーはかせの音訓かるた	2 伝国②	◎3年生で学習する漢字を読むことができる。(伝国(1)ウ(イ)) ・送り仮名に注意し、漢字の音訓についての意識をもつことができる。(伝国(1)イ(ウ))	・漢字の音と訓を使った文を作ろうとしている。		・3年生までに配当されている漢字を読んだり書いたりしている。 ・正しい音訓や送り仮名で文を作っている。	
	5 本で調べて、ほうこくする文章を書こう							
		ことわざについて調べよう	1 4 書⑭	◎ことわざや故事成語の中から調べたいことを決め、必要な事柄について本や辞典を読んで調べることができる。(書(1)ア, 伝国(1)ア(イ)・イ(カ)) ◎書いた文章を見直し、より分かりやすく正確な言葉や表現にすることができる。(書(1)オ, 伝国(1)イ(ア)・(オ)) ○調べて分かったことを、事例を挙げながら、文末を統一して書くことができる。(書(1)ウ・エ)	・ことわざに関心をもち、本や辞典を使って調べようとしている。	【書】 ・本や辞典を使って、ことわざについて調べ、分かったことをカードに記録している。 ・報告書の型に沿って、調べて分かったことや考えたことを、事例を示しながら、文末を統一して書いている。 ・書いた文章について、内容を確認したり、より分かりやすい表現に改めたりしている。	・ことわざについて辞典などを使って調べてその意味を知り、語句や表現を増やしている。	■文献調査をし、報告書を書く。 ※文献調査したことを報告する文章にまとめる(社会・総合的な学習の時間) ※調べ学習(図書館活用)
	3	漢字の広場⑥	2 書②	◎絵を見て、2年生までに配当されている漢字を使った文を作ることができる。(伝国(1)ウ(イ)) ○修飾語を使って文章を書き、間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすることができる。(書(1)オ, 伝国(1)イ(キ))	・示された場面や人物の様子を、提示された言葉を使って説明しようとしている。	【書】 ・主語・述語の関係や読点の位置に気をつけて文を見直している。	・2年生までに学習した漢字を正しく使い、短文を作っている。 ・修飾語を使って、詳しい文を書いている。	■絵を見て想像したことをもとに文章を書く。

学期	月	単元名 小単元 教材名 (時数)	時数	指導目標	評価規準			※備考 ※次年度の指導に参考になる事項 ■言語活動
					関心・意欲・態度	【話・聞】【書】【読】	言語事項	
後 期	3	6 心にのこったことを、自分の言葉で表そう モチモチの木	1 3 読⑫, 書①	◎登場人物の行動や会話から、人物の 人柄や気持ちを捉えて読むことが できる。(読(1)ウ, 伝国(1)イ(ア)) ○心に残ったことを中心に、本文を引 用してポスターを作り、感想を伝え 合うことができる。(読(1)エ・オ) ・比喩を使った文を書いて友達と交流 し、相手の表現のよいところを伝え 合うことができる。(書(1)カ)	・登場人物に着目しながら物 語を読み、心に残ったこと を人に伝えようとしている。	【読】 ・会話や心情表現、行動を表 す文などから、人柄が分か ることを知り、着目して読 んでいる。 ・心に残ったことを交流し、 一人一人の感じ方の違いに 気づいている。 ・心に残ったことを表すため に、本文を適切に引用して いる。 【書】 ・比喩を使った文を書いて読 み合い、友達の表現のよい ところを伝えている。	・言葉に登場人物の心情が表 れていることに気づいてい る。	■心に残ったことを表すポスタ ーを作る。 ※他者への愛情をもち、勇気 をもって実行する姿勢を育てる 題材(道徳)
		わたしの三大ニュース	2 書②	◎3年生の生活を振り返り、友達に知 らせたい三大ニュースを決め、書く ことができる。 (書(1)ア) ○理由や事例を挙げながら、書くこと ができる。(書(1)ウ) ・句読点を適切に使い、段落の始めを 改行することができる。(伝国(1) イ(エ))	・一年間を振り返り、進んで 自分の三大ニュースを書 こうとしている。	【書】 ・知らせたいことを決め、明 確に伝わるように理由や事 例を挙げながら書してい る。	・過不足なく句読点を使い、 適切に改行を行っている。	■生活を振り返り、三大ニュー スを書く。
学習指導要領の配当時数			2 4 5					予備時数 8
国語の配当時数			2 0 2					
書写の配当時数			3 5					